

シエナプラス5は、プロの吹奏楽団として高い人気を誇るシエナ・ウインド・オーケストラの精鋭奏者たちから成る金管五重奏団。昨年、アクタス・ノナカ アンナホールで開催されたコンサートでは力強く美しいサウンドを披露。そのダイナミックな音量と表現に、会場に詰め掛けた吹奏楽ファンからは溜め息が漏れるほど…。たった5人で、シエナ・ウインド・オーケストラのコンサートに負けない楽しさを与えてくれると同時に、吹奏楽やブラスアンサンブルの新しい可能性を感じさせてくれた。

シエナ・ウインド・オーケストラ・
トランペット奏者

本間千也さんに聞く

2人でシエナの トランペット・セクションの サウンドを作り上げていった

——本間さんはシエナ・ウインド・オーケストラに入団して何年目になるんですか？

本間 佐藤友紀くんと同じで、今年で9年目になります。ちょうど佐渡さんが初めて定期を振ったときに入団しました。そのときはトランペットのメンバーが1人もいなくて、オーディションで佐藤さんと僕が合格したんです。入団した当時は本当に大変な時期で、入団したとは言っても、実際にはほとんど仕事がない日々が続きました。

——新しく入団した2人でトランペット・セクションのサウンドを作っていたわけですね。

本間 そうですね。それまでいた昔のメンバーとは入れ替わっているのですが、僕たちが全く新しいサウンドを作り上げていかなければなりません。吹奏楽のサウンド作りで、トランペット・セクションが占めるウェイトって大きいじゃないですか。そういう意味では、責任もあったし、やりがいもありましたね。特に「こういう風になりたい」という具体的な目標があったわけではないんですけど、いろいろな活動をしていくうちに、セクションの色ができてきたという感じでしょうか。

シエナの魅力は様々なジャンルが演奏出来ることでも、全力疾走のマラソンのようなスタミナが求められる

——本間さんにとってシエナ・ウインド・オーケストラの魅力は何ですか？

本間 たくさんあるのですが、クラシックやオリジナル作品だけでなく、ジャズやポップスなど様々なジャンルの音楽を演奏できること。これが何よりも面白いですね。

シエナプラス5の メンバーに聞く①

『クリスマスからの贈り物』 シエナプラス5コンサート



本間千也さん

——シエナのトランペットセクションは、すごくよく鳴っているという印象がありますが、スタミナ面で苦労しないんですか？
本間 毎回、スタミナ面では苦労しますよ。スポーツで例えるならば、全力疾走のマラソンみたいな感じ(笑)。それに対して、オーケストラは、曲は長いけど吹きっぱなしの時間は長くないから、短距離走みたいな感じでしょうか。

——スタミナ面だけでなく、求められる役割もオーケストラと吹奏楽では違うものなんですか？

本間 そうですね。オーケストラではトランペットとしての役割を求められるんですけど、吹奏楽のオーケストラアレンジものでは、それ以外に、弦楽器のパートがコレットに求められたり、木管楽器とのブレンドが要求されたりするので、いろいろな音色や表現力を変えなければいけません。そういう意味では、オーケストラよりも幅広い表現力を求められると言っていいでしょう。それがまた吹奏楽のトランペットの魅力でもあるんですけど。

シエナで使用しているのはバックBb管が基本ですが、アレンジ曲ではC管も使います

——現在、シエナ・ウインド・オーケストラで使用している楽器は？

本間 Bb管もC管もバックです。Bb管は赤ベルの金メッキ仕上げ。赤ベルはきついという人もいますが、僕自身はきついとは思いません。もしかしたら、赤ベルで黄ベルみたいな明るい音を出そうとすると、きついと感じるのかもしれませんが。息の圧力など、吹き手とのバランスがうまくとれていけば、全くきつくないはずですよ。

——マウスピースは？

本間 今はバックの1Cを使っています。楽器を始めたときは標準的な7Cを使っていたのですが、大きい径のマウスピースのほうが太い音が出ると思って高校時代に1Cを買



●2006年12月1日(金) 19:00~

●アクタス・ノナカ アンナホール

●出演：シエナプラス5

本間千也 (Tp)

佐藤友紀 (Tp)

林育宏 (Hr)

塚本修也 (Tb)

山岸明彦 (Tu)

●曲目

Rondeau / J.J. ムーレ、

空想、おもちゃ、夢 / G. ファーナビー (E. ハワーズ編)

金管五重奏曲 / M. アーノルド、
シエナプラス5の「音楽のおもちゃ箱」
~クリスマス編~、

第1組曲より第3楽章「マーチ」 / G. ホルスト (I.H. カートライト編)、

ウェスト・サイド・ストーリーよりマリア、

アメリカ / L. パーンスタイン (J. ゲイル編)

ったんです。それがすごく自分にとっては吹きやすかったので、大学に入るまで使っていました。途中、吹奏楽の授業できつかったので、少し小さい2Cに替えましたが、今ではまた1Cに戻りました。

——吹奏楽というとBb管というイメージがありますけど、C管も使うんですか？

本間 基本的にはBb管を使うことが多いんですが、オーケストラ曲のアレンジだとC管に持ち替えることがありますし、オリジナル曲でも音色によってC管でやることもあります。昨年12月に出たジョン・ウィリアムスのCDでも、Bb管とC管を使い分けていますよ。

——現場の子供たちも、Bb管だけでなくC管も使ったほうがいい？

本間 そうですね。たとえば、レスピーギの《ローマの祭り》や《ローマの松》などがよくコンクールで取り上げられていますけど、こういう曲をやるときはC管があったほうが吹きやすいし、音が華やかになって効果的だと思います。

——楽器はずっとバックだったんですか？

本間 ええ。高校のときからずっとバックです。業界の方たちでも圧倒的にバックを使っている人が多いですし、もう「トランペットの音と言えばバック」というイメージが定着していますからね。僕自身も、他のメーカーの楽器を吹いたときなど、必ずバックを基準にして考えてしまいます。

——この記事を読んでいる方に、楽器を選ぶポイントを教えていただけますか？

本間 音程、音色、吹奏感を考えて選ぶといいと思います。特に重要なのは音程ですね。音程は買ったあとから調整できませんから。たとえば、Bb管だったら癖の強い実音Cの音が低過ぎないかどうかとか、その半音上のDbの音が低過ぎないかどうか。そういうところに注意して、アルペジオや半音階を吹いてチェックするといいでしょう。

シエナ・ウインド・オーケストラ・トランペット奏者

佐藤友紀さんに聞く

力を抜いて音を飛ばすコツはイチローの打法と同じです

——佐藤さんは本間さんと同時期にシエナに入団したんですよね？

佐藤 ええ。1997年2月の入団です。僕がシエナに入団したのは大学1年生のときだったので、まだ何もわからない状況でした。トランペットは僕と本間さんしかいなかったんで、2人で1番パートを分け合っていて、本当に試行錯誤の状態で行っていました。他の楽器のメンバーも若かったんです

が、皆さん経験を積んだ方ばかりだったので、いろいろサポートしてもらいました。そのおかげで今の自分があると思います。

——自分たちのスタイルを築かなければいけなかったんですよね？

佐藤 はい。本当にゼロの状態だったので、それまでのシエナの伝統を崩さないようにしながら、新しいものを作り上げなければいけませんでした。

——経験を積みまでは、ペースが掴めなくて吹き過ぎてしまうこともありましたが？

佐藤 ありました。ツアーに出る直前のリハーサルの最終日に唇を腫れさせてしまって、ツアーでは一番上のパートから一番下のパートに替えてもらったんです。ツアーの最中に唇の腫みを出しながら痛みと戦って、最後の公演には上のパートに戻ることができました。何もわからずにガムシャラに吹いていたからそうってしまったんでしょう。それ以降は、何となくペースの掴み方がわかりました。マラソンと同じですね。全力疾走しても駄目だし、ある程度、自分のペースを保ちながらゆっくりし過ぎないようにする。全力疾走のぎりぎり手前ぐらいをキープして、果てないように行く感じです。中学、高校と吹奏楽をやっていたんですけど、そのときは本当にガムシャラでしたよ。ただ力まかせで吹いていて、でも、プロに入ってからガムシャラに吹かなくても力を抜いて音を飛ばすコツがわかりました。

——具体的にはどんなコツですか？

佐藤 スポーツと一緒にだと思っただけです。イチローの打法に近い感じですね。彼のはすごく力を抜いているスウィングじゃないですか。球がバットに当たる瞬間だけ一瞬力を入れて、バットの真芯でボールの真ん中を捉える。あとはそれを振り抜くだけみたいな。トランペットも同じで、音を出す瞬間に腹筋に力を入れて、息のスピードで音を飛ばしてしまう。あとは、マウスピースのど真ん中を狙って音のツボを出してや



佐藤友紀さん

ればいいんです。

——ゴルフのスウィングにも似ている？

佐藤 ゴルフにも似ていますね。球技は全部共通しているのかもしれない。

吹奏楽のトランペットは映画の主人公が最初から活躍しているような感じ

——シエナの魅力は？

佐藤 皆さん同じことをおっしゃっていると思いますが（笑）、やっぱり、ジャンルの広さと若さでしょうね。僕らが入ったころと比べると年齢はだいぶ上がっていますが、まだ平均年齢は30代ぐらいですから。プロの技術を持っていて、経験も積んでいる中で、それに加えて若さとエネルギーがある。それが魅力でしょう。

——吹奏楽のトランペットの魅力は？

佐藤 やっぱり花形ですからね。オーケストラのトランペットも花形ですが、オーケストラのほうは待って待って美味しいところを持っていく感じ。それに対し、吹奏楽のほうは最初から鳴りっ放しで、細かいパッセージも出てくる。映画で言うと最初から主人公が活躍している感じでしょうか。

シエナではバックのBb管をメインで使っています。鳴らしたいときにちゃんと鳴ってくれる

——佐藤さんが普段シエナで使っている楽器は？

佐藤 シエナではバックのBb管をメインで使っています。バックは、吹奏楽でパワーが必要なときに充分に対応してくれるので楽ですね。とにかく鳴らしたいときにちゃんと鳴ってくれる。響きがすごく多いから、本当に鳴らしやすい楽器だと思います。ちょっとした息のスピードでもちゃんと鳴ってくれるし。

——マウスピースは？

佐藤 バックの1 1/2Cです。最初は7Cだったんですけど、高校3年のときに3Cに替えて、大学3年のときから1 1/2Cをずっと使っています。

——だんだん大きいサイズにした理由は？

佐藤 プロの世界に入るにつれて、それまでよりも大きな音が必要になるし、重厚な音が求められるので、小さい口径のマウスピースだと音が軽過ぎるというのはありました。

——楽器の選び方のアドバイスをお願いします。

佐藤 やっぱり音程です。音程に関して、最低限、楽器のほうがかバーしてくれないと、演奏面ですごく苦労してしまうので。あとは、自分が出したい音色に合うかどうかと、音のムラが無いかどうかをチェックするべきだと思います。「この指を押したときは鳴りが悪い」とかが無いように。

●知っているともっと面白い●

バック トランペットの知識

ご存じない方も多いと思いますが、バックには様々な仕様のベルやマウスパイプ、ボアサイズがあります。更に、ラッカーやシルバークロムなどの仕上げの違いやライトウエイト仕様など、組み合わせは無数。自分オリジナルの楽器を考えてみるのも面白いですよ

● BORE SIZE

TRUMPET

M	11.51mm
ML	11.66mm
L	11.74mm
XL	11.89mm
MLV	11.51/11.66mm デュアルボア

● BELL SIZE

Bb TRUMPET

No.37	MLボアの標準モデル。芯のある、豊かなサウンド。
No.43	XLボアの標準モデル。No.37より幅広く、明るいサウンド。
No.72	MLVボアの標準モデル。No.37より力強い、ダークサウンド。
No.65	バックのベルの中で、最も太いベル。ダークなドイツ風サウンド。
No.25	Lボアの標準モデル。反応が大変良く、引き締まったサウンド。
No.38	Mボアの標準モデル。コンパクトで、変化させやすいサウンド。

C TRUMPET

No.239	C管の標準モデル。より大きく、豊かなダークサウンド。
No.229	芯があり、華やかなサウンド。
No.256	反応が良く、とても豊かなサウンド。
No.238	ビンドボナ(ウィーン)モデル。 他のモデルとは異なった倍音のパターンにより、豊かで、ダークなサウンド。

● M/PIPE SIZE

Bb TRUMPET

No.25	標準モデル。適度な抵抗感で、芯があり音のつながりが良い。
No.25LR	リバース (LR) の標準モデル。抵抗感が少なく、自然に息が入る感じ。
No.250	XLボア、LT180/72の標準モデル。抵抗感が少なく、自然に息が入る感じ。
No.6	No.25よりやや抵抗感が少ない。
No.7	よりオープンで、ダークサウンド。
No.43	抵抗感が少なく、柔軟性に優れた明るいサウンド。
No.44	No.43より柔軟性に優れ、明るいサウンド。
No.43LR	No.43より抵抗感が少ない。

C TRUMPET

No.25C	C管の標準モデル。
No.25H	柔軟性に優れ、大きな音が出しやすい。
No.25A	マウスパイプが長く、音程が安定しやすいダークサウンド。
No.25S	No.25Aよりさらにマウスパイプが長い。
No.25R	リバースモデル。抵抗感が少なく、柔軟性に優れたダークサウンド。
No.7C/43C/44C	C管用マウスパイプで、Bb管と同じ。
No.43 R/44R	No.43C、44Cより抵抗感が少なく、特に高音域で音質、音程が安定しやすい。

Bach 180ML



メーカー希望小売価格 ¥313,950

- 調子：Bb
- ベル：37
- マウスパイプ：25
- ボアサイズ：ML
- 仕上げ：SP

Bach C180L



メーカー希望小売価格 ¥340,200

- 調子：C
- ベル：239
- マウスパイプ：25C
- ボアサイズ：L
- 仕上げ：SP

Bach 182ML



メーカー希望小売価格 ¥303,450

- 調子：Bb
- ベル：37
- マウスパイプ：25
- ボアサイズ：ML
- ボディのみライトウエイト
- 仕上げ：SP